

行政報告

一 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症につきましては、感染力の非常に強い変異株が本市においても猛威を振るい、複数のクラスターが発生するなど、五月には二百二十人もの感染者が確認されました。

本市での感染防止対策につきましては、四月の全国的な感染拡大を受け、成人式をライブ配信に変更するなど、危機感をもって取り組んでまいりましたが、通所介護施設等でクラスターが発生したこともあり、五月の連休以降、連日二桁の感染者が確認され、五月十二日には最多となる二十三人の感染が確認される極めて厳しい状況となったため、同日の緊急本部会議で、本市独自の緊急感染防止対策を実施する決定をいたしました。

具体的には、デイサービス等の従事者約四千人を対象とした緊急PCR検査の実施をはじめ、市の施設の利用制限や、感染の防止に関する注意喚起文書の全戸配布、防府駅前でのチラシ配布や広報車による巡回広報など、あらゆる手段をもって、市民の皆様にご感染防止の徹底をお願いしてまいりました。さらに、五月十八日には山口県において、感染拡大防止集中対策の実施が決定され、県民に対する外出機会の半減などの要請があったことから、学校へのチラシ配布や、夜に飲食店を中心に「いつでもマスク」ポスターを配布するなど、更なる注意喚起に取り組んでまいりました。

こうした取組に対する市民の皆様の御理解・御協力もあり、感染者の新規発生数は落ち着いておりますが、引き続き、国の緊急事態宣言及び六月二十日まで延

長された県の感染拡大防止集中対策の動向も注視し、今後とも油断することなく感染防止対策に取り組んでまいります。

国が新型コロナウイルス感染症対策の決め手としているワクチン接種につきましては、高齢者の皆様が七月末までにワクチン接種を終えられるよう、また、希望される全ての方に一日も早く接種いただけるよう、全力で取り組んでいるところでございます。

こうした中、五月二十四日に医師会、歯科医師会、薬剤師会と本市で、早期ワクチン接種に向けた団結式を行い、ワクチン接種の予診を医師会、ワクチンの接種を歯科医師会、ワクチンの希釈等を薬剤師会が行われる体制が整いました。

このことにより、高齢者の集団接種の予約枠四千人分を追加で確保できるなど、高齢者のワクチン接種スケジュールが大きく前進したことで、本市独自の取組として、通所・訪問系事業所の従事者、市内看護学生、消防職員等の優先接種を開始することができました。さらに、保育園・幼稚園等の職員、小中高等学校等の児童・生徒及び学校職員、障害者や警察署職員等の優先接種を予定しているところでございます。

また、高齢者へのワクチン接種につきましては、希望される全ての方が接種できるよう、ケアマネジャーによる個別訪問や電話による声掛けなど、きめ細やかなサポートを実施しており、児童・生徒の優先接種につきましては、医師会や教育委員会と接種方法の検討を進めているところでございます。

こうした取組により、六月十三日時点での高齢者の接種状況は、対象者三万五千人に対し、一回目を接種された方は、一万八千八百人で、接種率は五十パーセントを超え、五十三・七パーセントとなっております。また、高齢者に加えて、

本市では医療従事者や高齢者施設等の入居者及び従事者、通所・訪問系事業所の従事者並びに市内看護学生の接種が六千三百人となっており、あわせて二万五千人の方が接種を開始しております。これは、本市の全接種対象者に対し、二十四・二パーセントで、約四分の一の方が接種を開始されたことになり、当初の予約受付時には、混乱が生じておりましたが、本市のワクチン接種はおおむね順調に進んでいるものと考えております。

このように高齢者の早期ワクチン接種とともに、本市独自の取組を進めることができましたのは、防府医師会、防府歯科医師会、防府薬剤師会をはじめとする関係者の皆様や市議会議員の皆様の御理解・御協力のたまものであり、改めて、感謝申し上げますとともに、十月末までに希望される全ての方にワクチンを接種していただけるよう、全力で取り組んでまいります。また、企業等が職域接種を実施される際には、県としっかりと連携し、サポートしてまいりたいと存じます。

この度の補正予算では、十月末までに希望される全ての方にワクチンを接種いただくためのワクチン接種体制の強化、また、コロナ禍で疲弊した市内経済への対策を講じる必要があるため、これらに係る経費を計上いたしております。

二 第5次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」について

令和の時代に燦然と輝く防府のまちをつくるための総合計画「輝き！ほうふプラン」が四月からスタートしました。

この「輝き！ほうふプラン」を広く市民の皆様にご知っていただくために、プランの概要版を、庁舎建設 実施設計のリーフレットとともに、五月に全戸配布いたしました。

「輝き！ほうふプラン」に掲げた重点プロジェクトにつきましては、「防災広

場」、「防府駅周辺の活性化」、「行政のデジタル化」、「カーボンニュートラル」に関する庁内横断のワーキンググループを立ち上げるなど、「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向け、スピード感をもって取組を進めております。

なお、重点プロジェクトの最初に記載しております庁舎建設につきましては、この度の議会に、二号館・三号館の解体工事請負契約締結の議案を提出させていただいております。本体の建設工事の補正予算につきましては、本年度末の着工に向け、九月議会での提出を予定しております。

三 セルビア共和国女子バレーボールチームの事前合宿について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開幕まで三十九日となり、いよいよ、七月十六日には、セルビア共和国女子バレーボールチームを本市にお迎えいたします。

事前合宿では、選手の皆様が安心して練習に専念でき、最高の状態でオリンピックに臨めるよう、また、市民の皆様にも安心して選手をお迎えいただけるよう、防府医師会の御協力の下、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策を講じるとともに、練習の補助を行う高校生ボランティアなどの事前合宿関係者へのワクチン接種も、本日から行うこととしております。

選手との交流は制限されますが、公開練習や大会期間中のイベント開催などにより、市民の皆様と一緒に応援できるよう、感染防止対策や開催方法を検討してまいります。

これまでに取り組んできたホストタウン事業の集大成となるオリンピックに向け、また、セルビアチームの金メダル獲得のため、万全の体制で取り組んでまいります。